

林業・山村地域振興 ～過疎地域における林業の可能性～



<http://senzonoyamamori.jimdo.com/>

九州大学大学院農学研究院

森林政策学研究室

佐藤宣子

本日の話題提供

1. 山村の土地利用からみる林業の重要性
2. 森林・林業の近年の動向
資源充実、素材生産の拡大と地域差
素材生産の担い手と統計に表れない小規模林業の重要性
3. 「田園回帰」の若者による「半林半X」のライフスタイル～過疎地域における林業の可能性①：**暮らし**～
* 林業就業を要件とした地域おこし協力隊募集自治体
4. 山村における防災面での林業従事者の役割
～過疎地域における林業の可能性②：**防災・環境**～
5. 自伐**型**林業者と森林所有者の関係性
～過疎地域における林業の可能性③：**福祉**～
6. まとめと政策課題

1. 山村の土地利用からみる林業の重要性

山村振興法の指定要件（1950年2月1日の市町村区域）

- ・ 林野率 75%以上
- ・ 人口密度 1.16人/ha未満

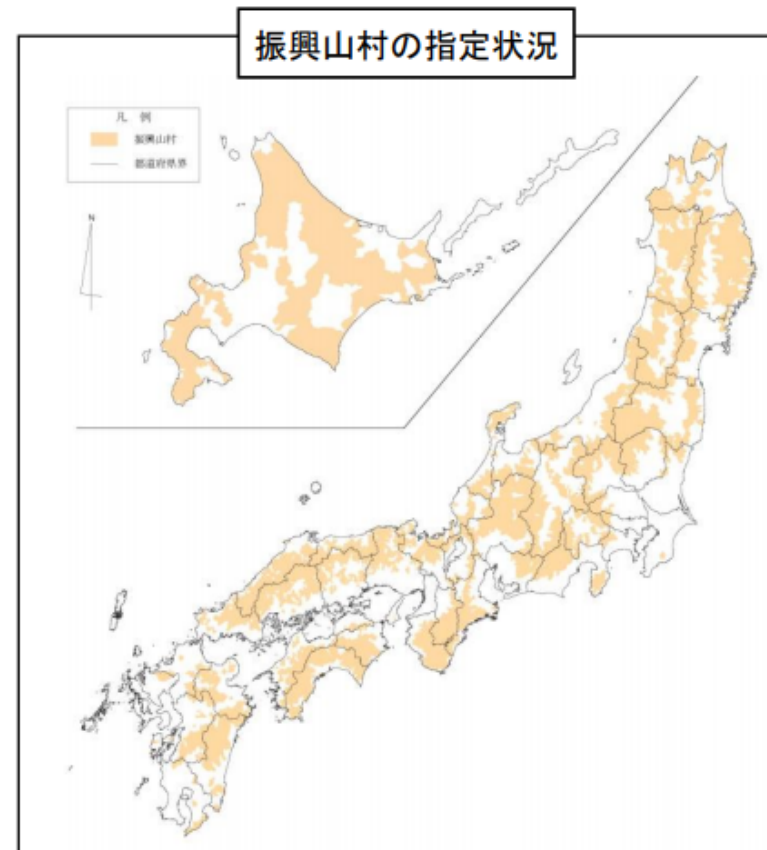
570/734自治体（78%）が過疎法指定

振興山村の人口推移

- ・ 1965→2010 -42%
- ・ 高齢化率（2010）
- ・ 山村34.1%（@23.0%）

◇ 全国における山村の位置付け

	山村	全国	対全国比
市町村数 (H26. 4. 1現在)	734 (200)	1,719	43%
〃 (H17. 4. 1現在)	913 (340)	2,395	38%
旧市町村数 (S25. 2. 1現在)	2,104	11,241	19%
	振興山村	全国	対全国比
総面積 (万ha) (H22. 2. 1現在)	1,785	3,779	47%
うち林野面積	1517 < 85% >	2,485	61%
うち経営耕地面積	78 < 4% >	363	22%
人口 (万人) (H22. 10. 1現在)	393	12,806	3%



資料：農林水産省「2010年農林業センサス」、山村カード調査、総務省「国勢調査」

注1: 市町村の全域が「振興山村」となっている市町村を「全部山村」、市町村の一部が「振興山村」となっている市町村を「一部山村」という。

注2: ()内は、全部山村の市町村数である。

注3: < >内は、振興山村の総面積に占める林野面積、耕地面積の割合を示す。

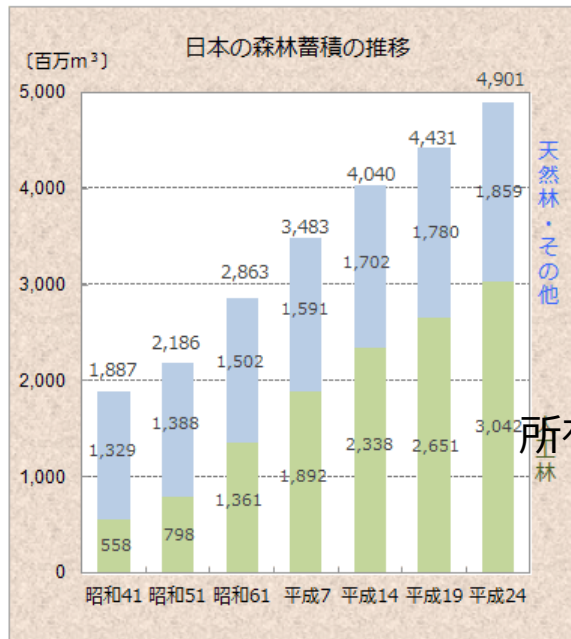
注4: 林野面積とは、現況森林面積に森林以外の草生地の面積を加えた面積をいう。

出典：林野庁（2015.4）「山村をめぐる状況と今後の方向」1ページ

2. 森林・林業の近年の動向

森林資源「充実」と価格推移

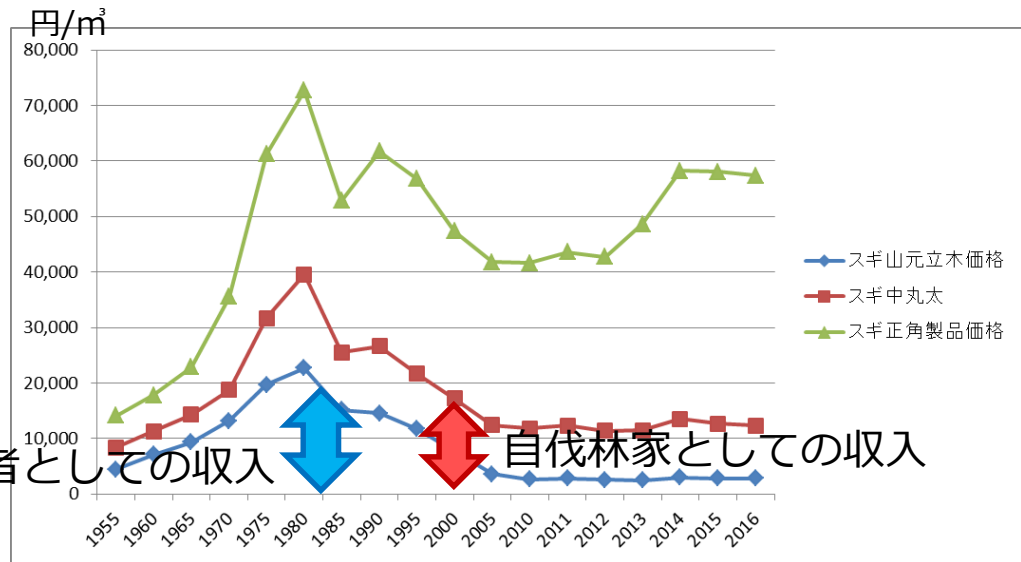
森林蓄積量の推移



データ出所：林野庁「森林資源の状況（平成24年3月31日現在）」

出典：森林・林業学習館HP
http://www.shinrin-ringyou.com/forest_japan/menseki_tikuseki.php

スギ（製品・原木・立木）価格の推移



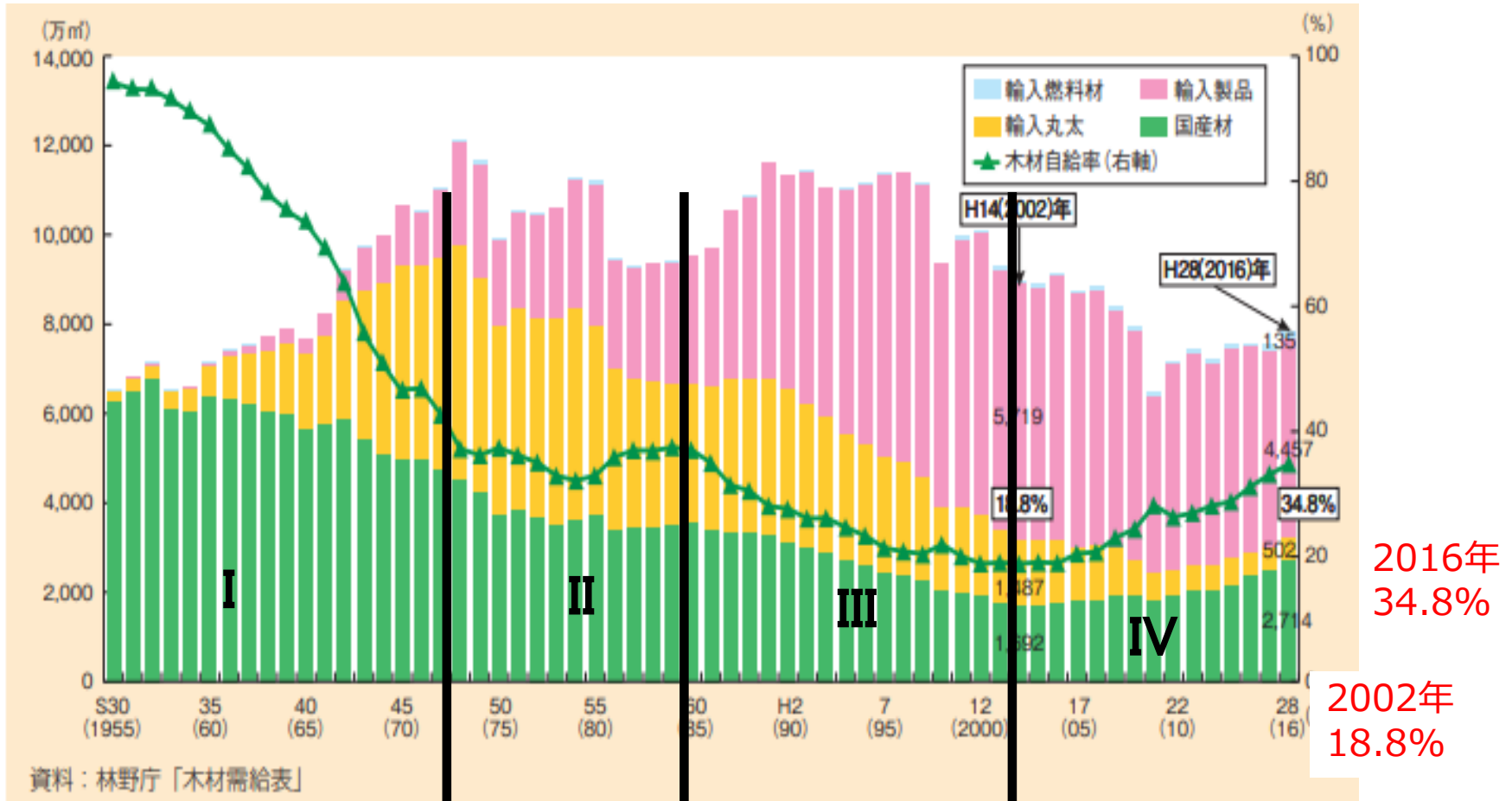
資料：農林水産省統計部「木材価格」、日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」より作成

近年の需要動向：集成材、合板、
 バイオマス発電用原木、薪用原木
 需要（BC材）の増加
 ⇒原木価格約1万円/m³での需要増加

木材需給と自給率の推移

成長産業化
輸出にも注目
(餅田・遠藤、2015)

一方で、不在村化や
境界不明森林問題
「土地所有権の空洞化」
(飯國編、2018)



資料：林野庁「木材需給表」

出典：「平成28年度 森林・林業白書」

(http://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/25hakusyo_h/all/a47.html)

素材生産の担い手構造（2010年センサス：12,917経営体）

（山林保有か受託・立木購入×労働力）

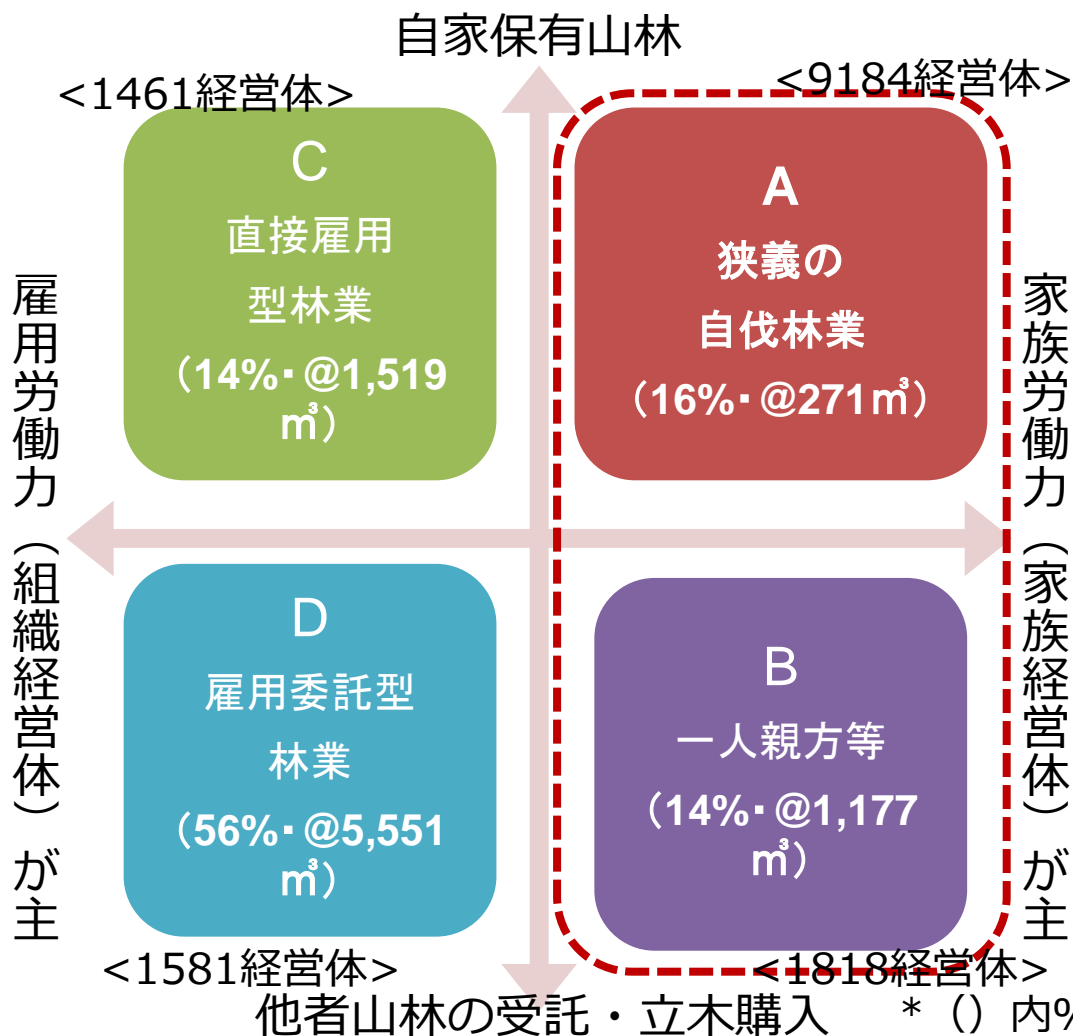


表 2005年から2010年のタイプ別素材生産量の変化

Type	2005 (,000)	2010 (,000)	2010 /2005
A	2,012	2,485	1.23
B	1,501	2,138	1.43
C	1,890	2,220	1.18
D	8,420	8,777	1.04

資料：2010年世界農林業センサス結果

素材生産の約3割は家族経営からで
素材生産拡大を牽引（佐藤、2014）

図 素材生産の経営類型区分図

資料：2010年世界農林業センサス結果

* () 内%は2010年素材生産量計比率
数字は経営体当たり
平均生産規模 (m³/経営体)

素材生産の担い手構造（2015年センサス：10,490経営体）

（山林保有か受託・立木購入×労働力）

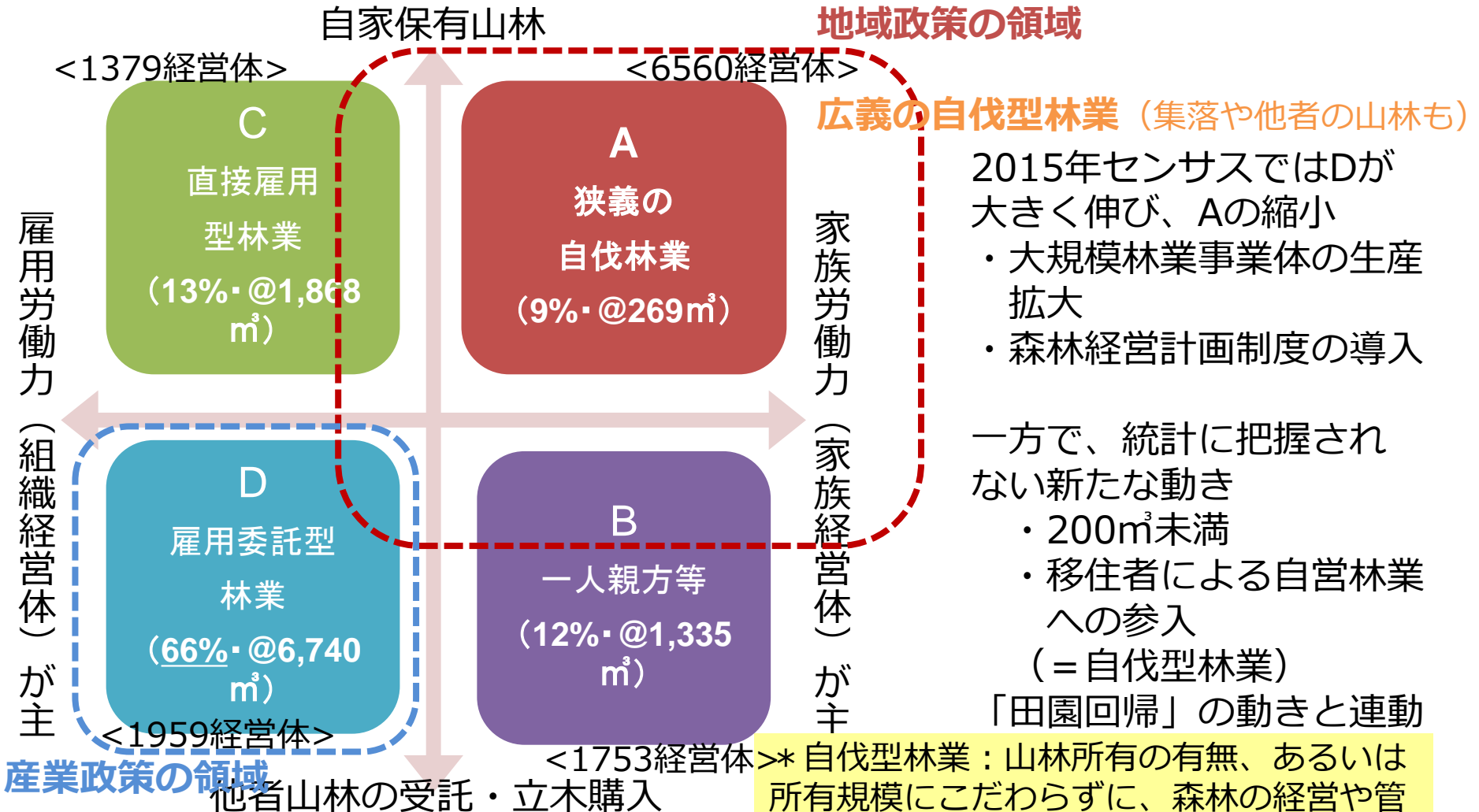


図 素材生産の経営類型区分図

資料：2015年世界農林業センサス結果

林業経営体 (140,186経営体(2010)→87,284経営体(2015))

家族林業経営体

組織林業経営体

- ①保有山林面積が3ha以上で
- ②育林又は伐採を適切に実施するものに限る
(森林施業計画→森林経営計画に従って施業を行う
又は調査期日前5年間連続して育林若しくは伐採を
実施)
- ③委託を受けて行う育林若しくは素材生産
又は立木を購入して行う**素材生産**
(調査期日前1年間に200m³以上)のいずれかに
該当する経営体
200m³未満の素材生産の存在:統計上把握できず

家族林業経営体数: 世帯単位で林業を行うもの
177,812(2005)→125,592(2010)→78,080(2015)
〈▲29.4%〉 〈▲37.8%〉

組織林業経営体数: 1戸1法人以外の法人(会社,
森林組合), 法人以外の組織, 自治体・財産区等
22,412(2005)→14,594(2010)→9,204(2015)
〈▲34.9%〉 〈▲36.9%〉

3. 「田園回帰」の若者による「半林半X」のライフスタイル：**暮らし**の視点

- 鳥取県智頭町（現代林業No.604）、高知県四万十市

スタイル：様々な「X」との組み合わせ易さ

農業、生け花、カヌーやダイビングなどアウトドアのインストラクター、住職、移動料理店、自動ドアメンテナンスなどの不規則な自営業との複合

*エネルギー自給 *販売としては多くが200m³以下

バランス：世代間（時間）のバランス、空間のバランス

デザイン：地域デザイン、「景観に溶け込む道づくり」

*参入のしやすさ、しかし森林管理技術の奥深さ



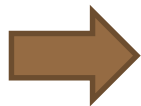
写真撮影：全国林業改良普及協会 森順子

行政による「自伐型林業」支援策の特徴

市町村による自伐型林業支援の例 ～地域おこし協力隊～

- 隊員が林業に新規参入したり、募集要項を林業に限定して募集する自治体が増える

「緑の雇用」と異なり、雇用されずに自営(自伐型林業)で参入するケースが多い



新しい林業参入のかたち

(片山・佐藤 (2016))

林業活動を行う地域おこし協力隊の広がり

(自)は自伐型林業者を募集

地域おこし協力隊が林業就業している自治体

林業を特定して募集あるいは選考している自治体（2015年段階）

- ・滋賀県：長浜市 3名(自)
- ・京都府：京丹後市 2名
- ・奈良県：曽爾村 2名
- ・岡山県：新見市 3名
- ・鳥取県：智頭町
- ・島根県：津和野町 7名(自)
- ・高知県：佐川町 9名(自)
- 大豊町 1名
- 本山町 3名(自)


- ・北海道：新得町 1名
- ・岩手県：陸前高田市 2名
- (自)
- ・群馬県：中之条町 2名
- ・奈良県：下北山村 若干名
- 天川村 2, 3名
- ・島根県：津和野町 4名(自)
- ・高知県：本山町 2名
- ・宮崎県：えびの市 4名
- 巨峰町 新上野町 1名

協力隊終了し独立

林業で有名でないところでも自伐型林業で募集していることが特徴、西日本から全国に広がる

募集例：島根県津和野町

この森から、日本を変える。



**KIKORI
PRIDE**

“津和野型自伐林業”の仲間、募集中。

出典：KIKORI
PRIDE

募集例：島根県津和野町

業務概要

- ・津和野町が新たに取り組む「**自伐型林業**」のモデルチームとして、林業を実践し、3年間の活動終了後には、リーダーとなり「**津和野型自伐林業**」を目指す。
- ・隊員は、**町が管理する町有林等をフィールドとして**、自伐型林業を実践し、3年後の定住の際には、地域の山を含めた集約化を行い、自伐型林業として自立する基盤をつくる。

募集対象

1. 津和野町の「自伐型林業」を理解し、実践してくれる方
2. 3年間の活動終了後は、津和野町の自伐型林業のリーダーとして活躍してくれる方
3. 年齢20歳以上、概ね40歳までの方
4. 現在、都市地域等に居住している方で、生活拠点を津和野町へ移し、住民票の異動ができる方
5. **集落にとけ込み、地域の自治会活動に参加できる方**
6. 任期終了後は、津和野町で起業、または就業等により定住する意思のある方

募集例：島根県津和野町

給与・賃金等	月額160,600円
待遇・福利厚生	<ol style="list-style-type: none">1. 健康保険・厚生年金・雇用保険等の社会保険に加入。2. 住居は町が斡旋し家賃負担をするが、家電製品や生活用品、光熱水費等は本人負担。3. 勤務時間中はパソコンと活動車を貸与します。4. チェンソー、チェンソープロテクションウェア、レインウェア、ヘルメット、作業着（夏用、冬用）、長靴など基本的な装備は貸与するが、それ以外のものは自己負担。5. 公務や活動、研修に必要な旅費等は町が負担。6. 業務に支障の無い範囲で兼業を認める。

資料：「津和野町地域おこし協力隊(林業チーム)募集について」より作成

(片山・佐藤 (2016))

2017年10月から随時、3年間の満期、独立へ

- ・自伐型林業＋食材流通・ブランド化 合同会社「Yamori」設立
- ・自伐型林業＋狩猟 協力隊員2人で合同会社設立

市町村による移住者の林業支援のタイプ

①技術習得の機会創出

智頭町：町有林を「智頭の森の学び舎」へ管理委託：I
ターン者の訓練の場

NPO自伐協での自治体支援：伐倒・作業道の講師派遣

②施業地の斡旋、紹介

佐川町：町が所有者のとりまとめ、仕組みづくり

智頭町：「山林バンク制度」森林所有者の紹介
(財産区で若者に任せる動き)

津和野町：移住者が自ら確保を、自治体は相談役

本山町：森林組合が森林経営計画策定地の一部を委託

③機械導入、リース制度

佐川町 町が購入、移住者に安くリース

本山町 森林組合に導入補助、移住者がリース

津和野町 協力隊活動費で導入、独立時に永久貸与

④**所得保障、住居の斡旋**：地域おこし協力隊の場合：3年間の所得保障（16万円/月程度）+住居の斡旋

⑤**木材・林産物販路の確保支援**

津和野、本山町：薪販売、木の駅プロジェクト

気仙沼：バイオマス発電所での小規模事業者間伐を

FIT対応の間伐材証明 条例で認める

みなべ川：温浴施設に薪ボイラー導入

* 高知県小規模林業支援 造材技術（A材）

建築材として販売する、独自の売り先

⑥**副業支援**

本山町：ラフティング免許取得

* 小規模な製材加工機購入支援

4. 山村における防災面での林業従事者の役割 ～過疎地域における林業の可能性②：防災・環境～



耳川天然ダム災害

【日時】	平成17年9月6日 午後9時30分頃
【場所】	宮崎県東臼杵郡美郷町野々尾(旧西郷村)
【規模】	約300万m ³
【被害】	人的被害なし
【雨量】	連続雨量約1300mm

出典：国土交通省HP、深層崩壊事例

(URL:<http://www.mlit.go.jp/common/00121615.pdf> より)

笹田敬太郎 (2012年：九州大学提出修士論文)
「九州山村における消防団組織に関する研究」より

調査対象地と調査方法

消防団、災害社会学関連の文献精査
聞き取り調査、資料収集より

- ①常備消防：**熊本県球磨村**
- ②非常備消防（消防団と消防支援隊）：**宮崎県諸塚村**
- ③常備消防はあるが、1時間以上：実質
消防団員が消防を担う

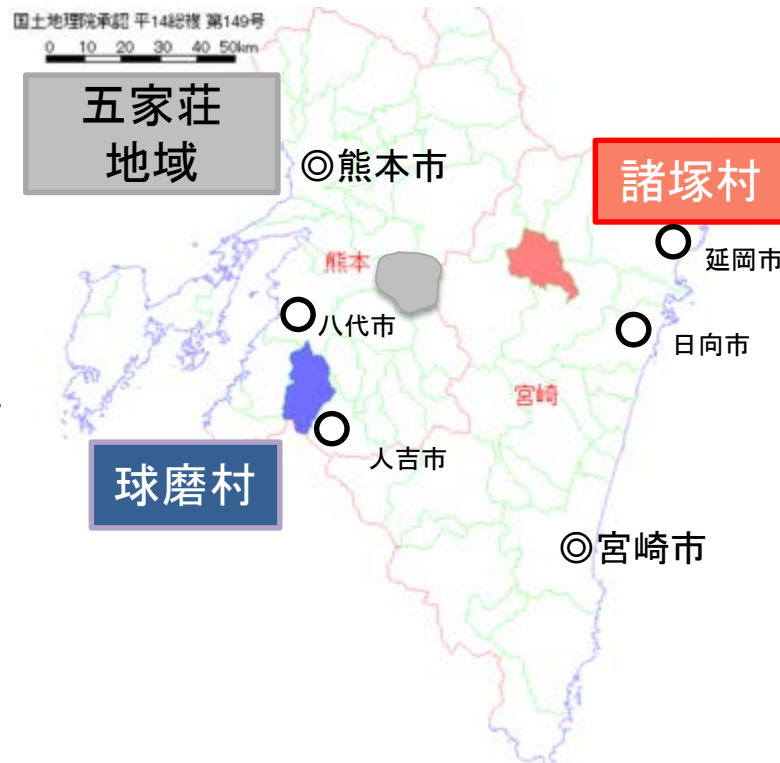
熊本県八代市泉町五家荘地域

- アンケート調査 645送付
有効回答数 350(54.3%)

(2011年8月～10月)

<調査内容> 消防団の概況、課題（消防担当者）
年齢、職業、所属している地域の組織、消防団に入団した理由、
災害・有事の出動回数、災害経験、
農林地面積、間伐・見回りの有無、農林業の経験（団員）

（作成：笹田）



活動形態別：消火活動

	1位	2位	3位
球磨村	農協職員	自営 農林業	森林組合 職員
諸塚村 消防団	役場職員	その他	農林業 以外の 自営業
諸塚村 消防支援隊	役場職員	農林業 以外の 自営業	その他
五家荘	サービス 業	民間 林業 事業体	建設業

消火活動
即時対応
すぐ動ける人

球磨村：
協同組合職員
自営農林業

諸塚村：
公務員と自営業

五家荘：民宿・観光
林業+建設
居る住民で対応

活動形態別： 水害対応・行方不明者搜索

	1位	2位	3位
球磨村	自営 農林業	民間 林業 事業体	役場職員
諸塚村 消防団	建設業	農林業 以外の 自営業	森林組合 作業班
諸塚村 消防支援隊	役場職員	無職 (年金)	建設業
五家荘	自営 農林業	サービス 業	建設業

水害対応 行方不明者搜索

長時間、数日に及ぶ
職場・会社・地域
の理解が必要

球磨村：
自営or民間
農林業従事者

諸塚村：
重機を持つ建設と
森林組合作業班の
寄与

災害の前兆現象把握の重要性と林業者

大分中津市耶馬溪町の山腹崩壊（毎日新聞 2018.5.10西部朝刊）

石が転がるような音や、木がギシギシと鳴る音。山崩れが起きる数日前、**現場となる山でシイタケを栽培していた**飛瀬幸男さん（77）は作業中、変な音を聞いたという。

山崩れで家は土砂に襲われたが、飛瀬さんは新聞配達中で、妻幹子さん（70）ら家族3人も逃げて助かった。飛瀬さんは「今思えば（音は）前兆だったかもしれない」と語る。他の住民も、現場付近で湧き水やこぶし大の石が落ちているのを目撃していた。



2018年4月11日深夜発生
した山腹崩壊現場
6名死亡

写真：佐藤（2018.5.12撮影）

5. 自伐型林業者と森林所有者の関係性 ～過疎地域における林業の可能性③：福祉～

*I・Uターン者と所有者との
地域条件に合わせたマッチング
経済ベース（立木価格）の施業提案だけではない
山村の生活者としての社会関係の重要性：
単なる施業請負と自伐型林業を分岐点？
【岐阜県恵那市串原の例】



集落40戸の森林70haの管理を任されている岐阜県恵那市の三宅さん、
集落内の高齢所有者は若者定住を喜ぶ、獣害の減少を実感
林業＋狩猟＋民泊で生計をたてる（No.617） （写真：森順子）

Iターン「自伐型林業者」の山林確保の4タイプ (森林所有者との関係)

【タイプ1】「自伐型林業者」が立木・地代を支払わないで山林を 委せてもらうタイプ

- ・ **公有林**を研修地として提供（熱海、智頭の間伐）
- ・ 空き家（1万円/月）といっしょに田畑、茶園と裏山（3ha?程度）は**自由に使っている**（高知・本山町）
- ・ 間伐施業と道づくりは自由にしている（7ha）、ユンボアのリース代も所有者が支援（高知・四万十市、商工会）：**若者の応援**のために
- ・ 地域内の高齢所有者「イノシシに食べられる前に筍をとってきてくれればよい」農地の**獣害抑止効果**や「**わらび道**」を「自伐型林業」者の間伐と作業道に期待（福井市）
- ・ 高齢独居女性が所有する間伐：**高齢独居女性への気配り**、風呂の薪を提供（高知・日高村） **福祉的な役割**
- ・ 静岡市（株）玉川きこり社 高齢女性と子育て
<http://www.kicorisha.com/index.html>
- ・ **集落の山林を自由に使ってよいような関係づくり**をして、将来的に還元したい（岩手県遠野市、島根県津和野市、岐阜県恵那市）

【タイプ2】 地場の立木価格 > 「自伐型林業」者による立木購入価格

- ・ **丁寧な間伐と長期的な受託**の実施を所有者に説明して理解を得る
(概ね木材販売価格の2割、森林組合の場合は4割) (智頭町)

【タイプ3】 地場の立木価格 < 「自伐型林業」者による立木購入価格

- ・ 「所有者からの**信頼を得る**ため、植えた人の苦勞に報いるため、A材は2000円/m³を支払う」 (本山町)
 - >> 「施業地確保には困らない、所有者が待っている」
- ・ できるだけ**集落内の所有者に還元**したい、国民年金だけでは暮らせない、生活に困っている所有者には高く返金することも (葬式代くらいは) (仁淀川町)

【タイプ4】 「自伐型林業」者が林地込みの立木を購入

- ・ 定年後の移住を機に**山林を購入** (四万十市)
- ・ 自伐型林業推進 (=若者定住) の自治体による「山林バンク」で売りたい所有者の紹介 (智頭町、本山町)

タイプ1が広がっている状況

6. まとめと政策課題

- ✓ 山村（多くは過疎地域）における森林資源活用の重要性
- ✓ 地域政策としての林業振興の重要性
- ✓ 自営複合のライフスタイルを目指す若者にとっての林業の重要性 = 「半林半X」の組み立てやすさ
- ✓ 参入の容易さと技術の奥深さ
- ✓ エネルギー自給、環境保全、景観デザインとの親和性
- ✓ 防災、獣害対策、高齢者福祉などの地域政策にも繋がる自伐林家、自伐型林業者の存在

【政策課題】

- ✓ 統計的にみえない小規模林業の動向把握
- ✓ 市町村の定住政策に林業を位置づける（⇒地域おこし協力隊等）
- ✓ 技術習得や安全講習など森林林業政策に位置づける
- ✓ 「新たな森林管理システム」や森林環境譲与税の用途についても必要な地域政策視点

参考、引用文献 1

- 安藤嘉友（1982）「大規模伐採業の停滞と家族協業型伐採業の形成」『林業経済研究』No.101,48-53
- 藤山浩（2015）『シリーズ田園回帰：田園回帰1%戦略：地元にと仕事を取り戻す』農山漁村文化協会
- 飯國芳明編（2018）『土地所有権の空洞化』ナカニシア出版
- 飯田繁（1975）『林業経営双書10 造林～その歴史と現状～』林業経営研究所
- 岩元泉（2015）『現代日本家族農業経営論』農林統計出版
- 上垣喜寛（2016）「地域づくりを担うひとびと：山をめざす若者たち」『ハリーナ』34, 3-5
- 小田切徳美・尾原浩子（2018）「農山村からの地方創生」筑波書房
- 紙野伸二(1962)「家族経営的林業の経営上の問題点」『林業経済』No.170、1～7頁
- 片山傑士・佐藤宣子（2017）「「地域おこし協力隊」制度による林業への新規参入者の特徴と受入自治体の支援策」『九州森林研究』No.70,7-10
- 菊地満（1989）「森林資源の危機と大山林経営の現段階～岩手県山形村の広葉樹資源問題～」『林業経済研究』No.115,1～14
- 黒田迪夫編著（1979）『農山村振興と小規模林業経営』日本林業技術協会
- 興梠克久「『担い手』林家に関する一考察：宮崎県諸塚村を事例に」『林業経済』49(7)：2-21
- 興梠克久（2015）「再々燃する自伐林家論～自伐林家の歴史的な性格と「担い手」としての評価」『第13回中山間地域研究会（中山間地域フォーラム）』（2012.10.9於：東京大学弥生講堂）配布資料
- 興梠克久「自伐林家の特性と静岡モデル」（2014年9月13日国民森林会議シンポジウム）

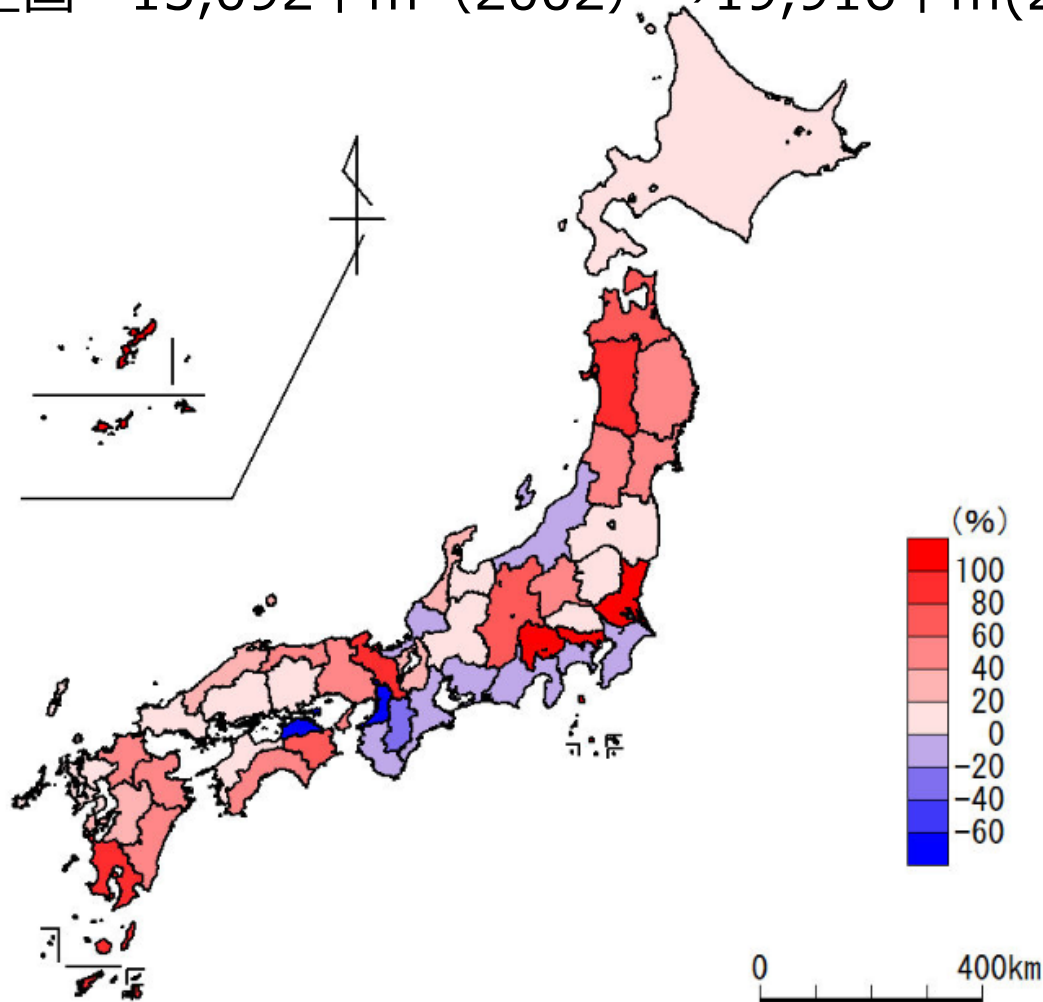
参考文献2

- 堺正紘編著（2003）『森林資源管理の社会化』九州大学出版会
- 笹田 敬太郎, 佐藤宣子（2013）「九州山村地域における消防団組織の現状と課題－消防団員の就業構造に着目して－」『林業経済研究』Vol.59(3),1-9
- 佐藤宣子・興梠克久（2006）「林家経営論」（林業経済学会編『林業経済研究の論点～50年の歩から～』日本林業調査会所収）,233-268
- 佐藤宣子(2013)「『森林・林業再生プラン』の政策形成・実行段階における山村の位置づけ」『林業経済研究』 Vol.59(1),15-26
- 佐藤宣子・興梠克久・家中茂編著（2014）『林業新時代～「自伐」がひらく農林家の未来～』農山漁村文化協会
- 佐藤 宣子(2015)「日本の森林再生と林業経営～『自伐林業』の広がりとその意味～」,『農村と都市をむすぶ』 No.762,8-14
- 佐藤宣子（2016）「2000年代以降の森林・林業政策と山村～森林計画制度を中心に～」（藤村美穂編著『村落社会年報52』農山漁村文化協会、31-58
- [佐藤宣子（2016.9から連載中）「自伐林業探求の旅シリーズ」『現代林業』No.603～627](#)
- 佐藤宣子（2017）「森林経営計画策定の地域的特徴と制度課題Ⅰ、Ⅱ」『山林』 No.1595,21-29 No.1596,26-35
- 中嶋健造編著（2015）『New自伐型林業のすすめ』全国林業改良普及協会
- 餅田治之・遠藤日雄編（2015）『林業構造問題研究』J-FIC
- 横尾正之（1960）『解説・林業の基本問題と基本政策』農林漁業問題研究会

【捕捉資料】

素材生産の都道府県別増減

全国 15,092千m³ (2002) → 19,916千m³(2014) +32%

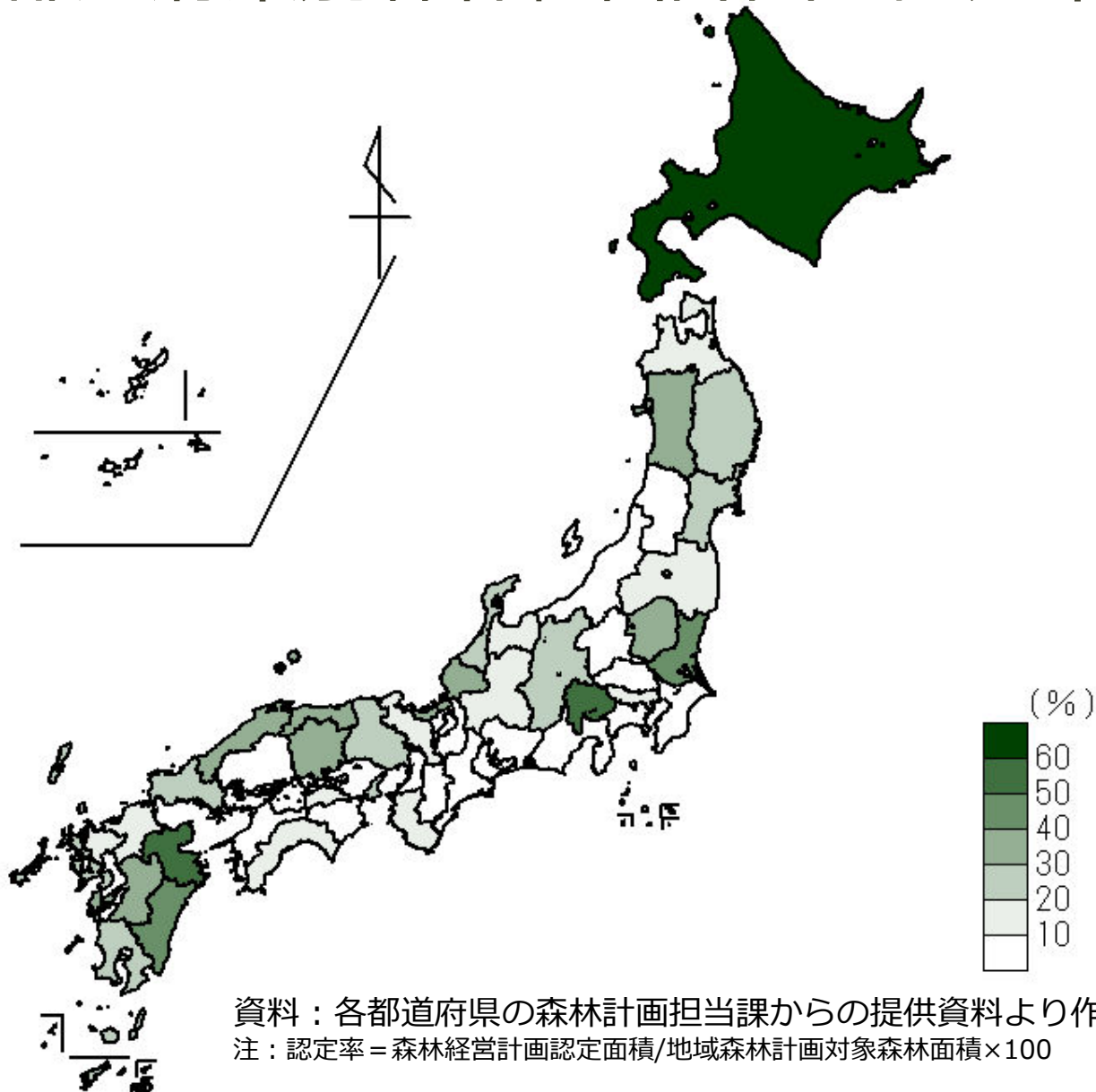


素材生産量増減 (2002年～2014年)

資料：農林水産省「木材需給報告書」より

【捕捉資料】

都道府県別森林経営計画の認定率 (2015年3月末)



資料：各都道府県の森林計画担当課からの提供資料より作成
注：認定率 = 森林経営計画認定面積 / 地域森林計画対象森林面積 × 100

【捕捉資料】

自伐林業者の収入確保のいろいろ

～技術レベルに合わせた工夫～

- ✓ 薪 ～軒先販売からインターネット販売、宅配～
- ✓ 燃料用チップ～地域内熱利用、バイオマス発電～ (No.626)
- ✓ 道の駅へ山菜、木工品 (No.604)
- ✓ 合板用材を直納または原木市場 (2m)
- ✓ 原木市場へ建築用材 (3m, 4m, 6mに採材)
- ✓ 産直住宅用に建築用材 (受注材) ～自然乾燥、長尺材～
(No.612、613)
- ✓ 広葉樹を家具生産
- ✓ 木工品を地元企業とタイアップ (No.611)



福井市:八杉さん、宮田さん



高知県本山町



熊本県芦北町

(写真:森順子)